

板橋区教育大綱
板橋区教育ビジョン2025
いたばし学び支援プラン2025

3 研究構想図・案

児童の実態と教師の願い

- ・児童が自分の力で文章や図表方から情報を読み取ることに課題がある。
- ・学んだことを生かし、自分の思いや考えを言語化する力を身に付けさせたい。
- ・語彙を積み上げさせたい。

本校の教育目標

- (知) よく考える子
- (徳) 思いやりのある子
- (体) たくましい子
- (情) ねばり強い子

これからの社会で求められる力
(「次世代の学校づくり」より)

- ① 文章や情報を正確に読み解き、対話する力
- ② 科学的に思考し・吟味し活用する力
- ③ 価値を見付け生み出す感性と力、好奇心・探求力

研究主題

読み解く力を育成するための指導の工夫

目指す児童像

低学年

必要なことを図や文章等から読み取り、自分の考えを表すことができる。

中学年

必要なことを図や文章等から読み取り、自分の考えを目的に応じて表すことができる。

高学年

必要なことを図や文章等から読み取り、自分の考えを目的に応じて、わかりやすく表すことができる。

専科

必要なことを図や文章等から読み取り、自分の考えを目的に応じて表すことができる。

研究仮説

教師が児童の学習のつまずきを予測し、基礎的読解力と照らし合わせて手だてを講じるとともに、自分の考えを表現する活動を取り入れることで、読み解く力を育成することができるだろう。

研究の内容

視点1 教科書等の文章や図表などから読み取らせる工夫

- ・基礎的読解力と照らし合わせた授業分析と授業に対する手だての設定
- ・児童にとって必然性があり、主体的に文章や図表などを読み取ろうとする課題の設定

視点2 わかったこと、考えたことを表現させる工夫

- ・目的を明確化した OUTPUT 活動の設定(児童が考えを書く活動、友達に伝え合う活動の充実)
- ・OUTPUT の目的に合わせた活動の指導の設定(書かせるための工夫、発表形態の工夫など)

全校的な取組の計画作成と実施

視写

ポプラタイムの活用

読書

主体的な読書活動

語彙

活用する積み上げ学習

音読

言葉の連続性を意識した音読

振り返り

「振り返りの極意」を活用した指導